

ぺたん娘

ビッチ!

PART II

ガリぺたん娘
たちの
狂宴

ロリ
御開帳
まん

狭いロリ穴

ギチギチに
締め付ける

「ポーラースター」「天の羽衣」おがわ甘藍

「コンプレックス」紫色雁行 / 「グローイングアップ!」う~とむ

「月夜のかぐや」海野螢 / 「はいきんぐ」あじまる

ぺたん娘ビッチ！PARTⅡ

CONTENTS

『ポーラースター』
おがわ甘藍

『コンプレックス』
紫色雁行

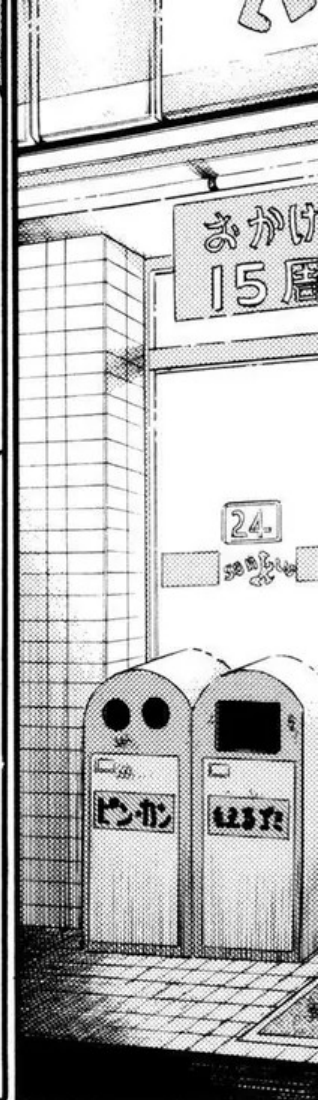
『グローイングアップ！』
う～とむ

『月夜のかぐや』
海野螢

『はいきんぐ』
あじまる

『天の羽衣』
おがわ甘藍









ちや子ちゃん
ていうのか

はい
星名ちや子です

ここですと
父ちゃん待つて
たのか

はい



ん？
全部食っていいんだぞ
おっちゃんはいらねえん
だから

これ
おとーさんの分

おとーさん ゆうべ
ごはん買いに行ったけど
急にお馬さんとかパチスロで
使わなくちやいけなくなつた
かもしれないんです

そしたらきつと
お腹すいてるでしょ



じゃあどうしても
父ちゃん帰ってくるまで
ここ動けないんだな？

はい

そーか

そんなじゃあおっちゃんが
いいもん作つてやる

いーもの？

ここで待つて
ろよ





いやなおっちゃん
あっちの自分の青テントの
そばにこれ作ろうと思って
集めたんだけどよ

フロな

おフロ？
すごい！！



ちや子も手伝う！

お頼むぞ



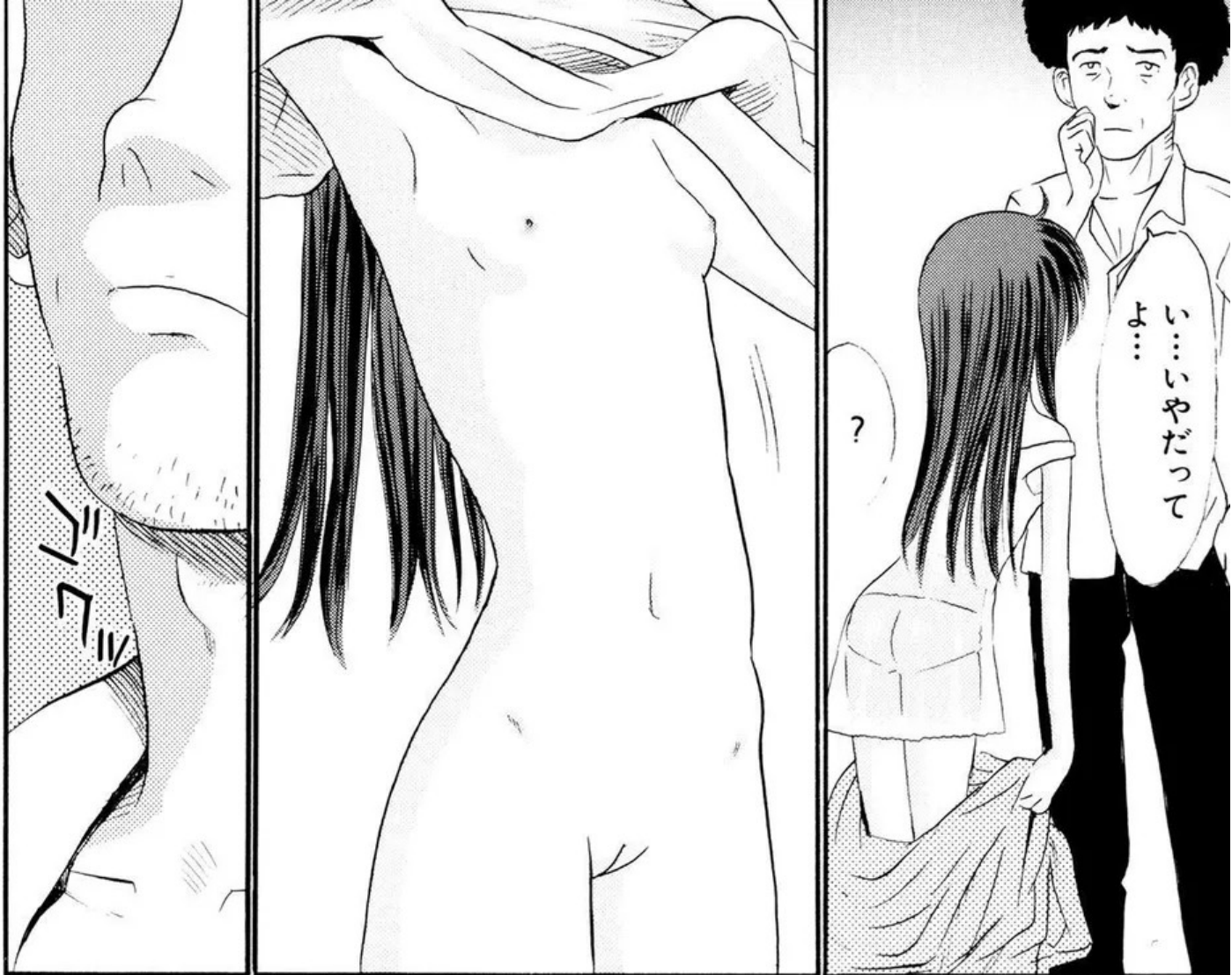
じゃあおっちゃんは
あっち行ってるから
ゆっくり入んなよ

おっちゃんは？
おっちゃんも
一緒に入ろーよー



よし
完成

バンザーイ
バンザーイ





ほら



あーだめだめ
そんなんじゃない



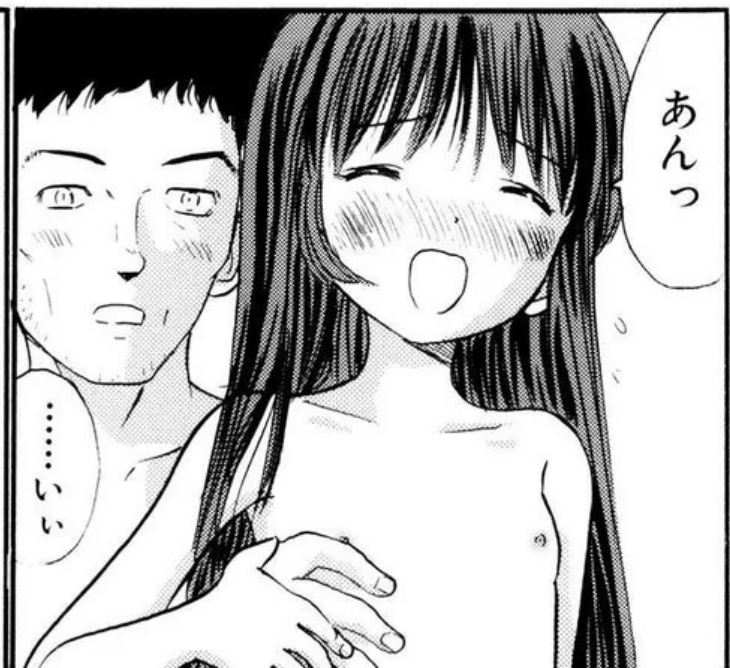
はい!



くにゅっ



ふふふ



あんっ

.....



あ…ごめんごめん
もう入っていいぞ

おっちゃんあん…
もおっ…



ちやちゃんの体は
きれいだな

ヌル

ヌル

お…おっちゃん



おっそうか
じゃおっちゃんも

やーん
狭いでーす

ニヤッ



じゃあひぎに
くるか?

はい!



わーい

あったかー



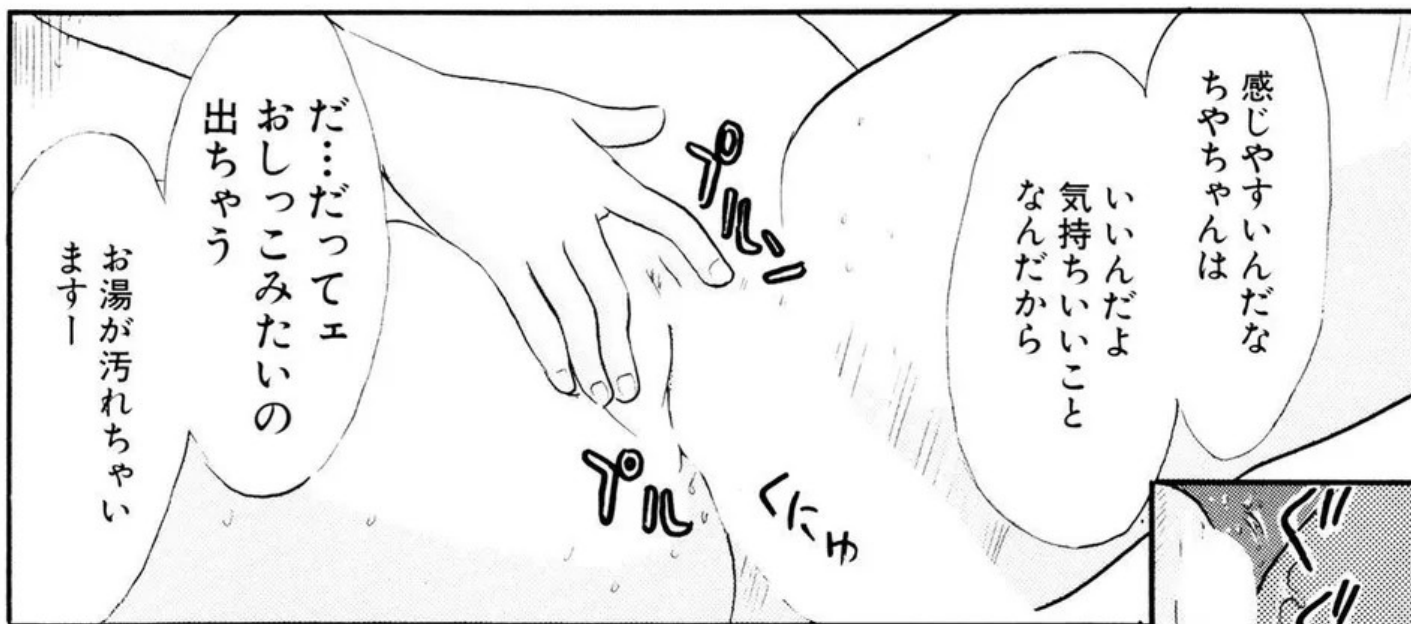


あっ…ああんっ

しびれちゃうからダメエ



ちやちゃんのおまたの
マメみたいなところを
おっちゃんのこれで
こすると気持ち良くないか？



感じやすいんだな
ちやちゃんは

いいんだよ
気持ちいいこと
なんだから

だ…だってエ
おしっこみたいの
出ちゃう

お湯が汚れちゃい
ますー



ひああっ
やあっ

やだよう〜



きゃああつ

おー出た出た
すごい

うええつ

うあつ

ん? ちやちゃんは
処女膜がないな
もう

ここに おちんちん
入れたことが
あるみたいだな

くふううつ

ひびひ

タラッ

ガッガッ





きゅうんっ

はひっ

ヒッ!

しゅ
しゅ
しゅ

しん

しん

しん

しゅ
しゅ
しゅ

しゅ
しゅ
しゅ

あ
渡り鳥

家族かなー

きっとおうちに帰る
ところですねー

ねえ おっちゃん

ちや子がねむっても
どうか行かないで下さい
おとーさんが帰るまで

ああ行かないで
ここにいてから安心して
寝な

はい

おとーさん
明日は帰ってくるかなー

ごめんな…
おっちゃん
ちやちゃんがさびしいのに
つけこんであんなこと…

と……

なんだ もう
寝たのか

父ちゃん…
戻ってくるといういな

END

レプリカミクス







うう…

俺…もう…
イキそう…

あ
あたしも

いつ…
いつちやう…!!

ズッ
ド
ズッ
ド

ド
ズッ
ド

ド
ズッ
ド

俺 カズアキと
彼女のミカは
現在同棲中

ハア

すげー
よかったよ
ミカ

ハア

ウフフ
あたしも♡

大好きだよ
カズ君

ハア

お互い異性との交際は
初めてだったので
目下ラブラブ中

…しかし

ハア

しっかし
汗かいたな

なあミカ
一緒にシャワー
入んない？

え…
…
ヤダ

ミカは
決してハダカを
見せてくれない



あつ
電気つけちゃ
ダメ!

110

はやく消して!
消してっばー

ババカ!!

この貧乳と

見事なまでの
パイパン

お子ちゃま並みのスタイルが
ミカのコンプレックスなのだ

か

俺も
男だし…

女の子って
アソコがどうなってるのか
見てみたいのだが

な…
何よ…

絶対
見ちゃダメ
だからね…

ミカは
頑なに拒否する

それで
つい
イジワルを
言ってしまった

…じゃあ
俺達…
もう…
別れようか？

え
なんで…？

うるるる

嫌だよ…
別れたくない



やっぱり
恥ずかしいよお...

いやあん



もっとよく
見えるように
腰を上げて
...そう



くば

見てるだけなのに
濡れてきた...

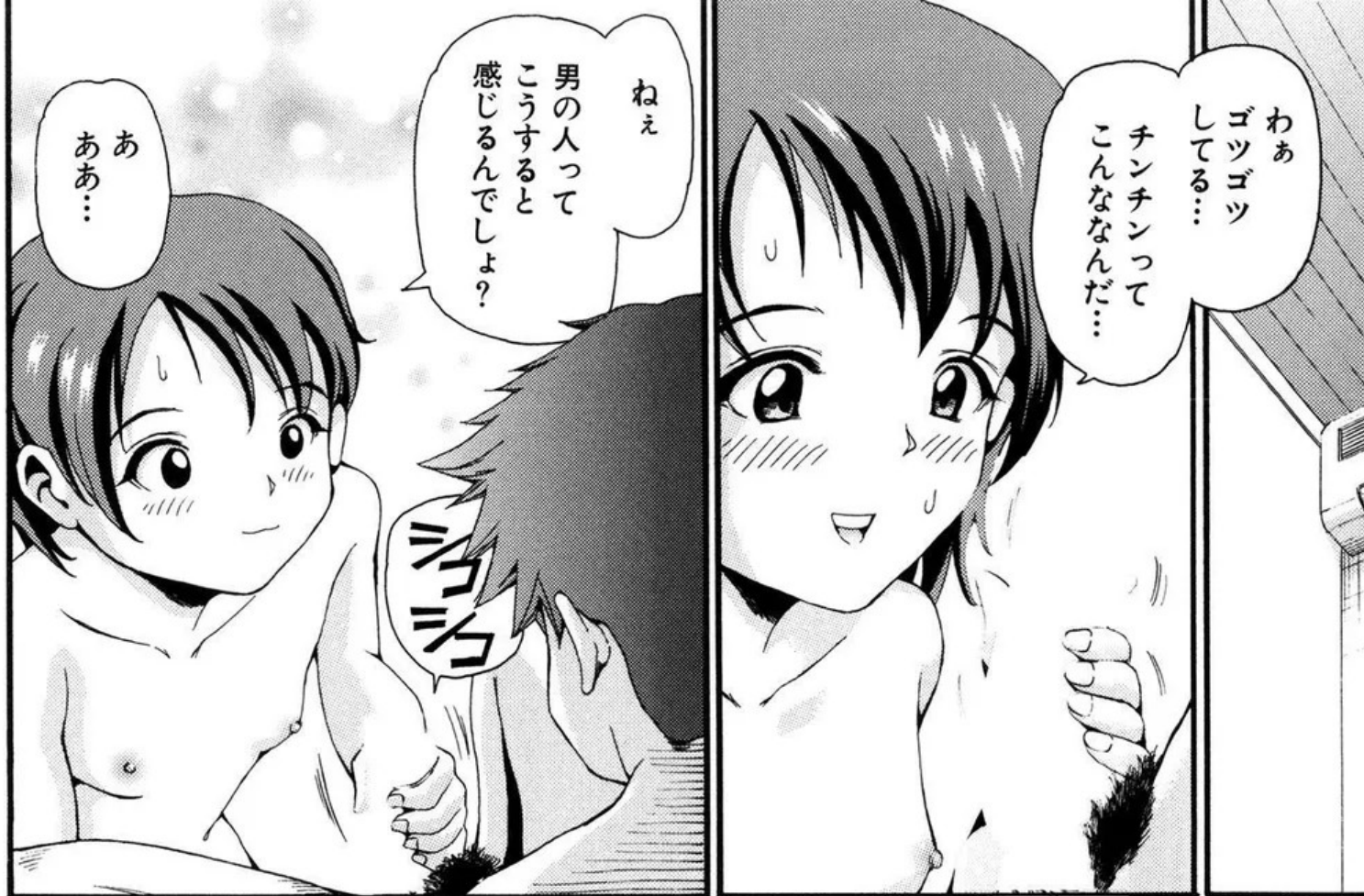
クリトリスも
ビンビンだし

ああん
もう許してえ...



へえ
ミカがつて
こうなつてたんだ...









あん

カズ君…
好きイッ

ズン

あっ

カズ君の
チンチン…

いつもより…
気持ちいいよう！

あっ…
あっもう…

グッ

グッ



いっちょっとうろ！

この日
ミカはいつもと違う
環境でのセックスに

かつてないほど
乱れまくって
いた

ミカの意外な一面を
発見できたようで

もう
カズ君!

イジワル言って
あんな恥ずかしいコト
させたりして…

もう二度と
しちゃイヤだから
ね…!?

俺は

……

怒ったフリ
しても
ムダだぞ
ミカ…

お前ホントは
見られてスゴク
興奮してただろ?

!!

ち
違うもん!

今までより
更にミカを
好きになっちゃった
のでした

END



はあ

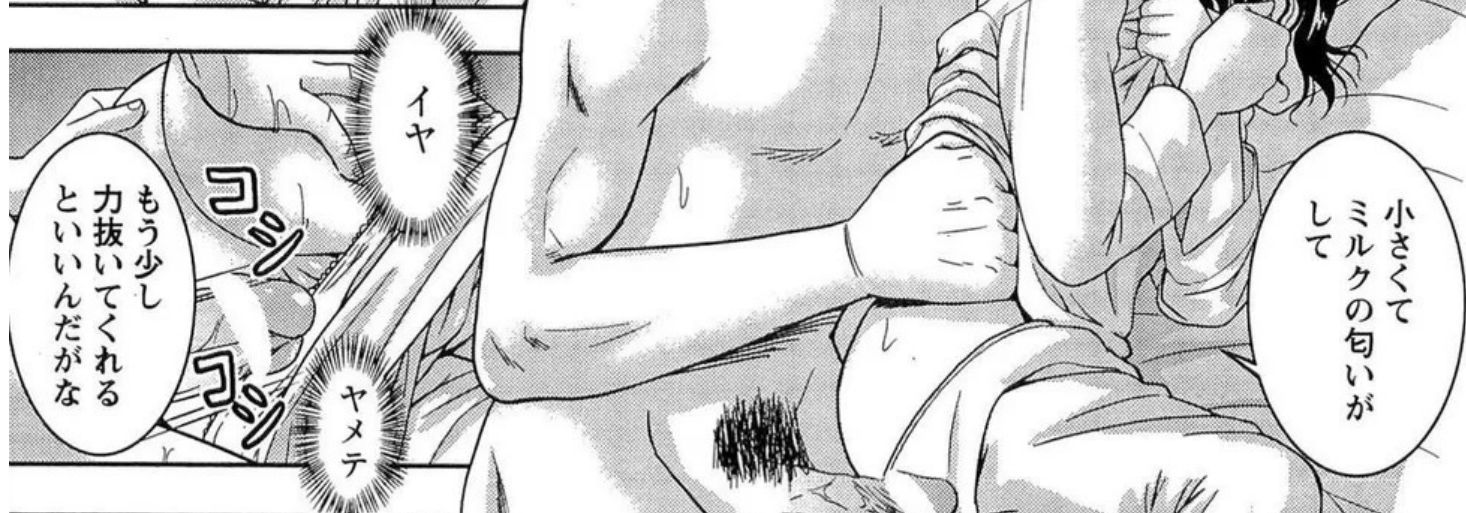
はあ

冴子は
可愛いなあ



触らない
で……

母さんと
比べものに
ならないくらい
スベスベして



小さくて
ミルクの匂いが
して

イヤ

もう少し
力抜いてくれる
といいんだがな

ヤメテ



冴子も
気持ち良く
なれるんだぞ
ハハハハハ

サワラナイデ



触らないでって
言ってる
でしょ！

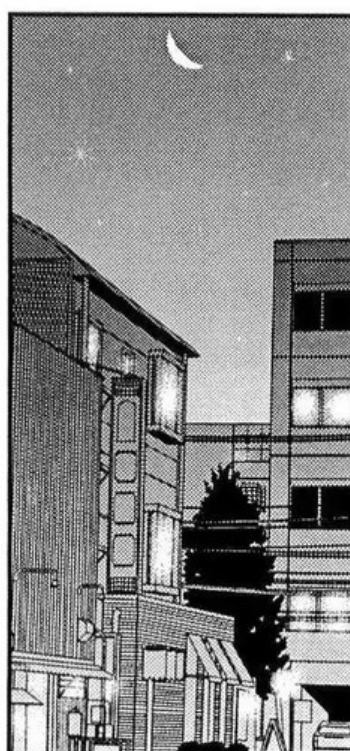


グローイング アップ！



いいから
もう
向こうへ
行って！

なんだよ
肩に手が
当たっただけ
だろ？







なんとか
家のモノには
見つかってないな

ゴメンね



最近お前おかしい
ぞ? しよつちゅう
イライラしてるし
何かあったのか?



信明くん!

ど...
どうしたの?



やっぱり信明くん
はわかってくれる
小さい頃から
優しかったし

信明くんなら
頼れる...

カ
ン

聞かされた
話は正直
困惑した

新しい父親が
事ある度
体に触れて
くる事

ついには布団
に入り横で
自慰行為を
された事

今日は
母親が
居ない事

部屋カギかけて
出て来たの

今日はいいけど
このままだと
いつか……

あんな男に
汚されるくらい
なら……

おい
何考えて





早く!

え



やれやれ
泣いていたか
と思っただら

もぞもぞ



信明くんも
脱いで



おろろ



男のくせに
ウジウジしない!

わ



.....
パンツも

イヤちよつと
これは...

もぞもぞ





あつたかあい
あの男のはただ
気持ち悪いだけ
なのに...

信明くんのは
ドキドキする



下着も
脱がして…



ん？

ごめ…なさい
ひざが開かなく
なっ…

恐いのか？



恐かったら
目開いてろ

目の前にいるのは
アイツじゃなくて
俺だ

もって
ハズカシ

信明くんなら
見られても平気

なる

うん





わかる？
この奥の穴に
入れるの

信明くんが
気持ち良く
してくれたから
平気

う

ゆっくり…
そう
あ…
入ってくるう

あふ
うあん

あは…は
ウソみたい…
信明くんが
私の中に…

本当に
信じられない
あの気の強い
冴子が…





あ…熱ウ!

う!

トロロ

トロロ

友達じゃなく
幼馴染みだからでもなく
男として何かしなければ
と考えた



ありがとう
これでせめて
信明くんだけは
嫌いにならない



あ

はあ

はあ



ハイ
清水です

あ：信明です
少しあらたまって
お話ししたい事が

アラアラ
冴子じゃなくて
いいの？



俺は冴子から
聞いた話を全部
話した



モチロン
信じられない
様子だったか



……
本当なの？

うん…

スピード離婚
になった



相手の男は
何も言わず
応えたらしい

あ
悪い



ゲ…やべ！

気を付けて
よね



おおお

極端な男嫌いは
直りつつある
ようだ



虫除けに
少しトゲを
残して欲しい
と思うのは
調子が良すぎるか

END

月の明るい
晴れた日は

夜の散歩が
私のルール

別に誰かに
云われたわけじゃ
ないけど

月島西仲通り商店街

月夜のかぐや

TSUKIYO no KAGUYA

だって今日は
満月なんだもん





よお
かぐや

桂君



今日は
満月の夜
だぜ？



桂君は
…？



うん
…ホラ



ああ
ああ…

下は
これだけ

下着付けて
ないだけで
こんなにヘンな
気分だよ

あのさあ

満月の下
二人で歩く
夜歩く



お前はともかく
男の俺が
脱いでも
意味ないだろ？

そんな事
ないよ
ちゃんと
見てるもん

誰が？

お月様！

ぼっか

だって
ホラ

あたし達が
歩いても

付いて
くるよ
お月様



お前に
ツキあって
くれてるんだ

そりや
かぐや



付いて
くるから
お月様？



それが
お前の
運のツキ

うん
そう
かもね



桂君…

あたし
もう…



ははは

ほら
着いた

どん
どした？

お願い…

満月の夜は
ルナティック

んあ

男は
いつでも
狼男

ん

んんっ

んんっ

ああたし
いつもより
ピンカン…

は

満月の夜
だからな

むぎ

むぎ







ま
待って…

邪魔なもん
取っちゃうから

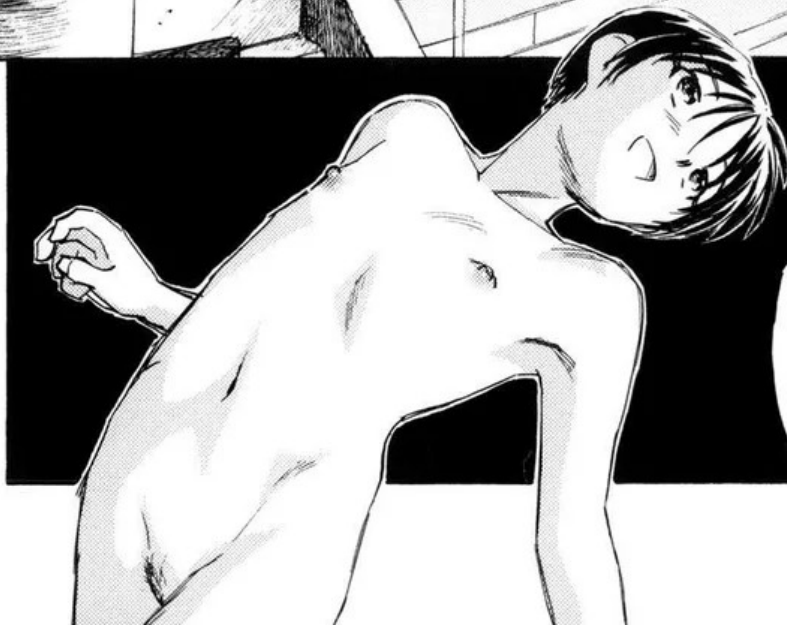


何かに憑かれて
いるみたいだぜ…



ほら見て
月の下の
まっばだか！

こんなに
気持ち
いいんだよ！



月も私に
嫉妬するかも！

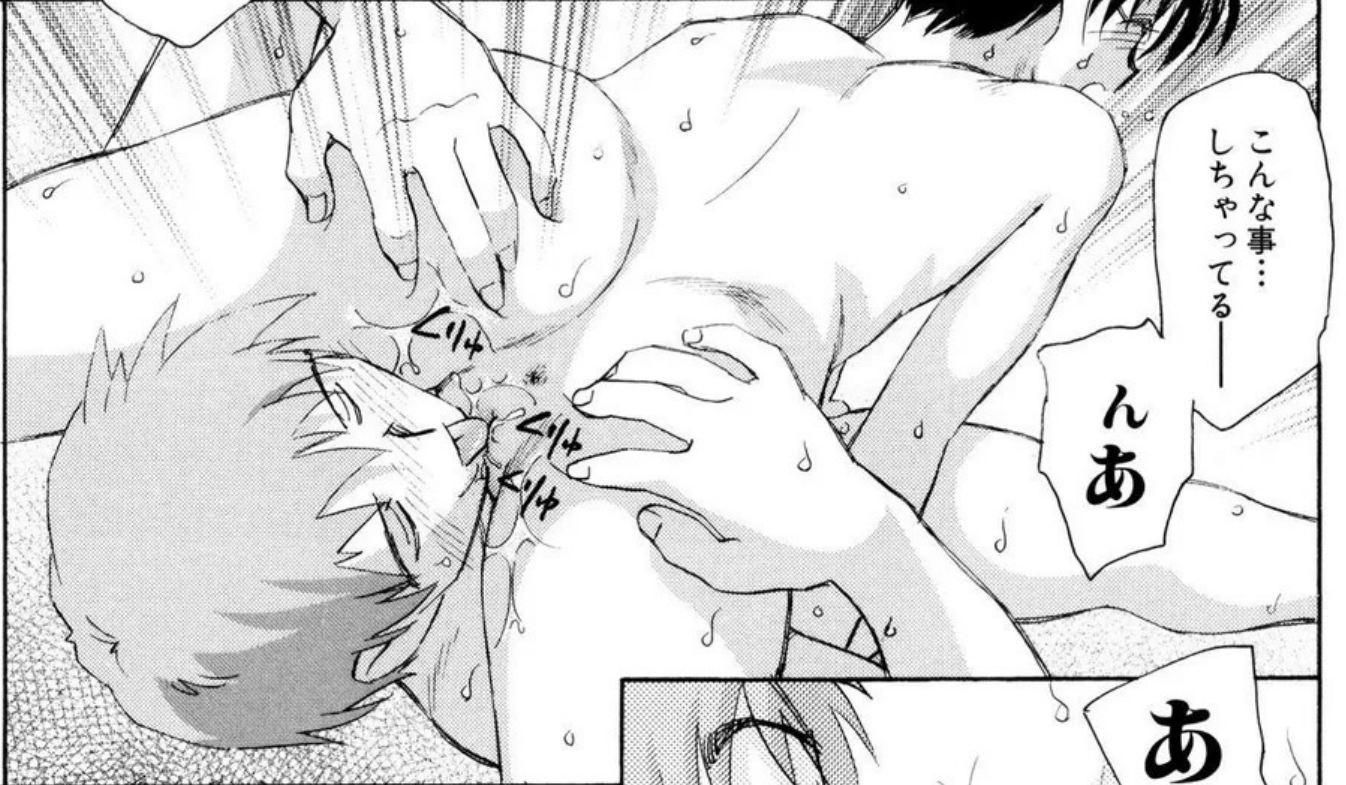


やっぱり
今日の私…
ヘンかも

んん
か
ん



…



こんな事…
しちゃってる—

んあ



ああつ!!



ひあ

満月の
せいだよ

満月の
…

ひびき
ひびき

ひびき

ひびき



はあっ

やっぱり
今日の私達
ヘンだ...よね

あ

いつもより
感じちゃって

ば
パチが
当たっちゃう
...かも...

あ

こんな所で
こんな事...

はア

平気さ

今晚だけは
お目こぼし

んんっ

んんっ

くっくっ

かぐ

がぐん

がぐん

がぐん

がぐん

がぐん

がぐん

がぐん

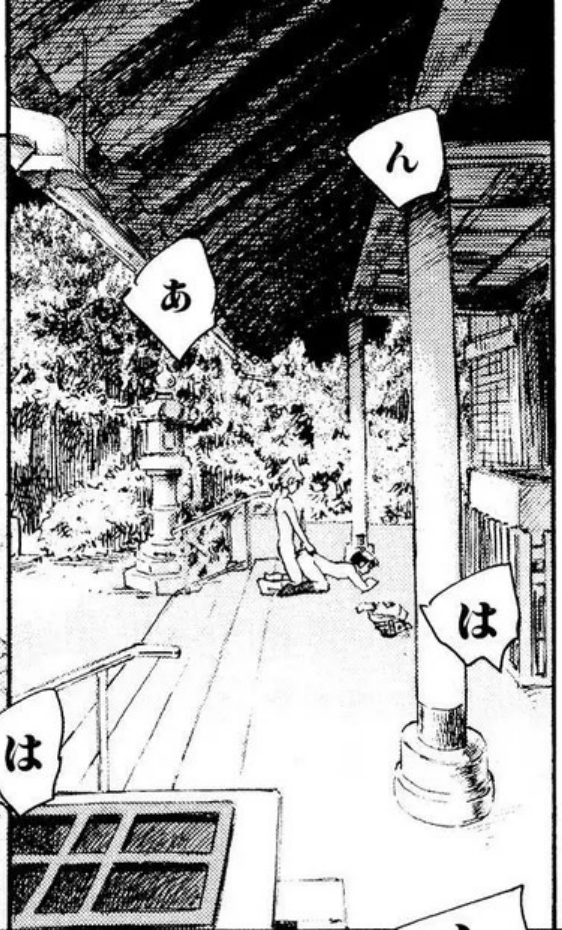
がぐん

がぐん

がぐん

がぐん

んん





ねえ…私の夢
知ってる？

私ね
いつか月に
行きたいの

私を月に
連れてって

ははは
さすがは
“かぐや”だ

大丈夫
きつと
行けるさ

ホント!?



だって俺達
ツキにツいてる
からな!



END





お

や

…ハイ

到着〜ツ月



どうした
梢ちゃん!?
こすえ

!?

ヤッ

しんどい…



もう
歩けへん〜

ハッ

ハッ









梢ちゃん
入ってる？

ゴメンゴメン
ちよつと後ろ
振り返って
もらえる？

びっくりした
：何よ
ヒデ兄ィ！

キャッ!?
な…何コレ

：扉が
ステンレス製で
鏡みたいだろ？
おまけに

このテの
鍵は
こうして
押し上げる…

ススス…
ミ

とっ！



あれ…梢ちゃん
扉に映った
自分の格好で
興奮した？

そそんな
知らへん！

この濡れ方は
汗とオシッコ
だけじゃあ
ないよね…

え…あ

あっ

れろっぢゅる

ちゅちゅん
ちゅちゅん

やああ
あん！！



ちゅるるるる
ひっ

あ…かん
ヒデ兄ィ
そんな強く
吸うたらっ

あっ…べ
舌入れたら
ダメエ!!



あ…

チュポ…

フラッシュ
梢ちゃんも
本当はエッチな
女の子だよな



だって
こんな体位^{カッコ}
痛いし怖いだけ
なんやもん!

こんなん
やったら
ヒデ兄^おいと
一緒に居っても
一緒に
ちゃうねん...

抱きしめる事も
出来ない様な
体位じゃあ...

きや
☆

ホントだ...
こんな相手の顔も
見えないし

梢ちゃんも
不安に
なるよな...

あ...



梢ちゃん
もつと強く
抱っこ
しようか？

ぐうっ

ギィ

グロ...

カ
4
ユ

ズ
ズ

ビ
ク
ッ

ふ
じ
ん

ギ
ユ
ッ

も...っと
ギユッして

よしきた!!

ひっ

ヒデ兄ィ
それ
違...う

うっ...で
出るよ
梢ちゃん

はっ…あ

あん♡

う…う…う…

カハカハ

ビュ





俺は結局
あんな風にしか
梢ちゃんの
相手をする事
出来無いから…

もし梢ちゃんが
イヤだったら
これっきり
会わない様に
するよ

…ヒデ兄イ

それに
ホンマにイヤやったら
トイレのドア
開けた時点で
許さへんから！

…ゴメン

わかったら
山下りてから
アイス
おごつてな！

あれだけの事
しといて何を今更
そんな事
言うてんの！？

そんな風に
思てたら…
こんな山まで
一緒に来たり
せえへんモン♡

END



泳ご
泳ご

うん!

天の羽衣



せつかく暑い中来たのに
プール水不足で
中止なんてさ

でもあたし
いいところ
知ってるんだ

トタタ

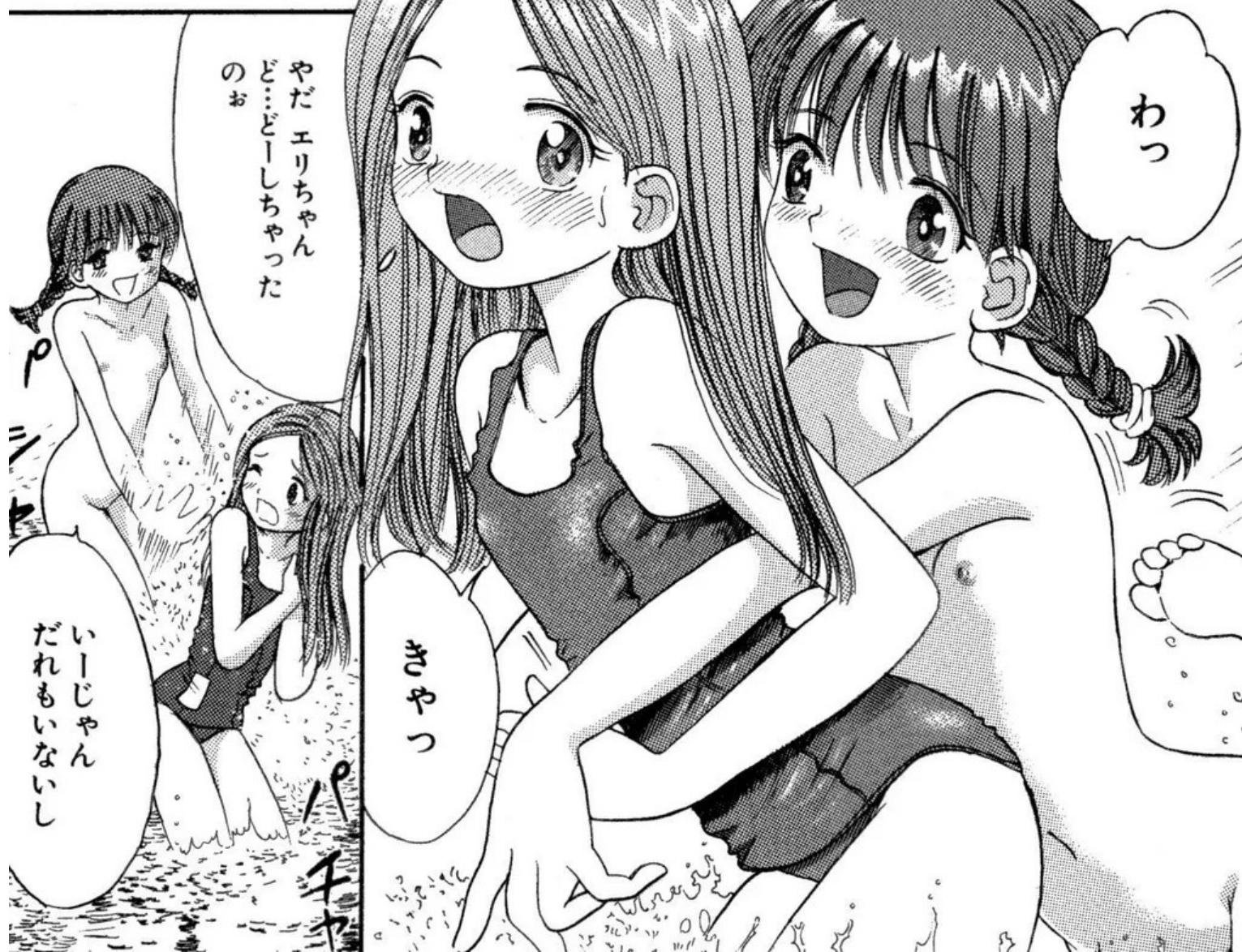
ちよつと
まってえ

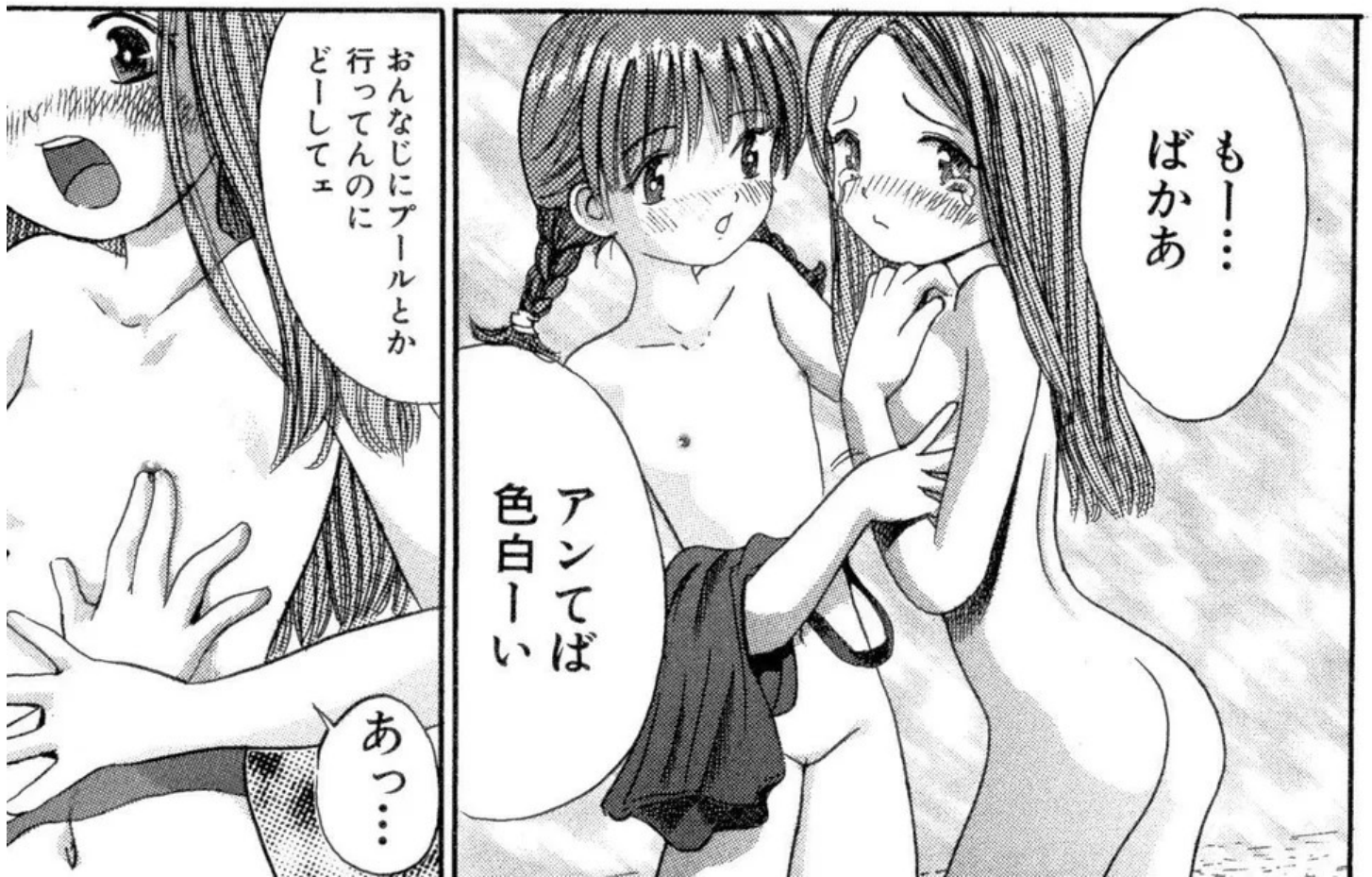
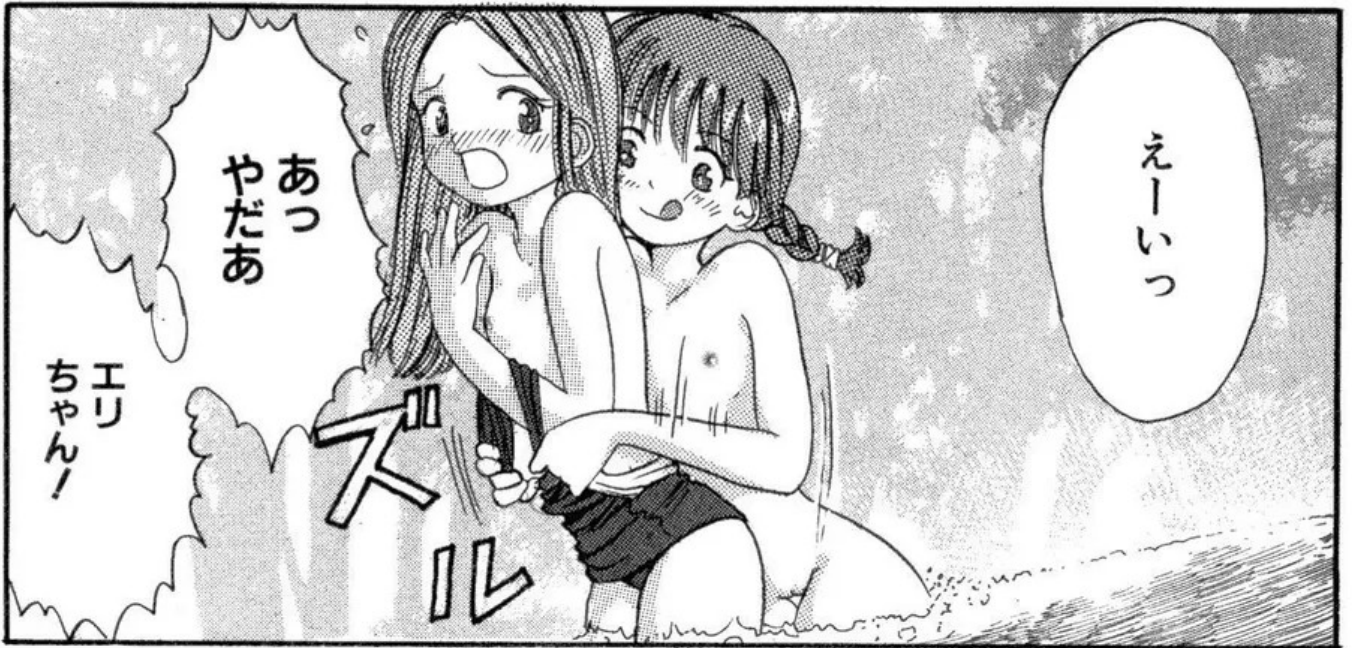


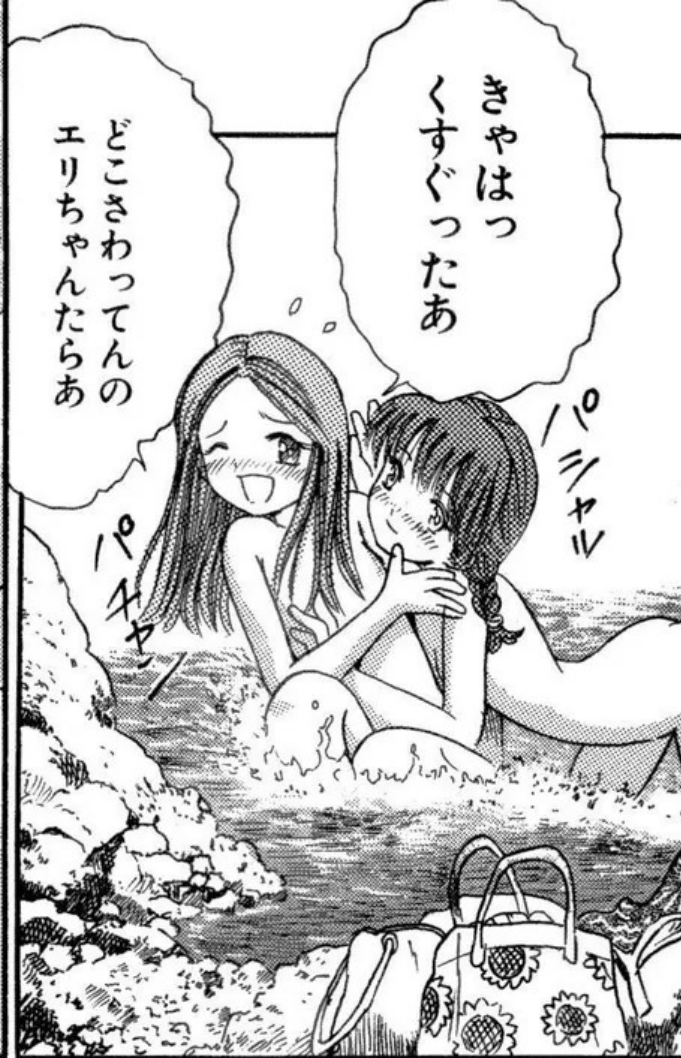
わあっ…

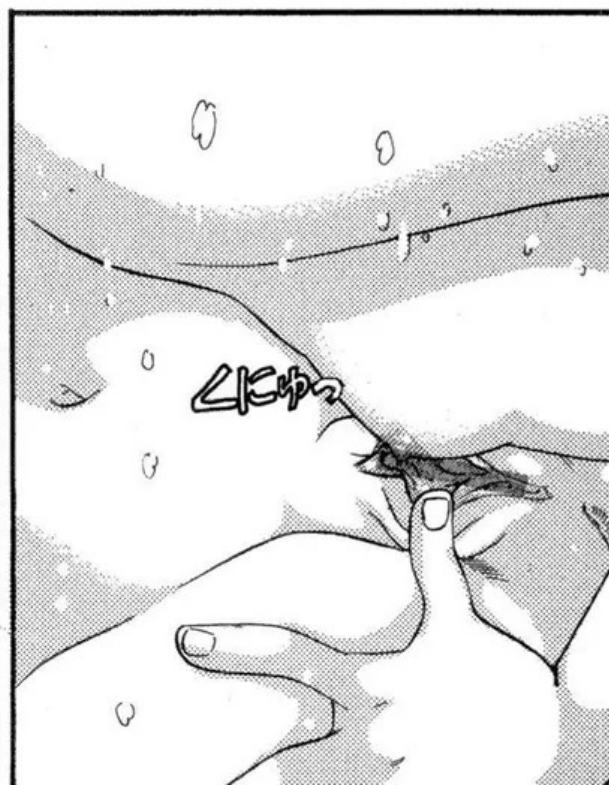
ねっ
市営プールなんかより
ステキでしょ

人もいないし













ど
どうして

ワイセツ行為に
及んだかどうかの
検査だ



そこに手をついて
足開きなさい



出なさい二人とも

調書取るぞ

い...いたっ



ははあ

はげしいペッティングを
示唆する
ももをつたうほどの
大量の愛液——と

又千回

タラシ



エ...エリ
ちやあん...



や…あ…
さわらないで
やめてえ…

膣内の筋肉もほぐれて
けいれんの名残りで
ひくついている

あつ…
や…

ちよつと！
やめてよ
いやがつてるでしょ

こっちのお嬢ちゃんは
オーガズムに達して
いたようだ

グヌヌ

プッ



主犯は
こっちか

見せてみなさい

グ

イッ



ぎゃんっ

P



おやおや
こっちは小陰唇も
クリトリスも充血
しきつてはりさけ
そうじゃないか

にゅく

や…

どんなふう
にさわりっ
こして
るんだ？

指か

や
…やめ

こんなの…
取り調べ
なんかじゃ…

それとも
すったりなめたり
か？

ネロッ

ひるひる

パチョ

ワチュ

ヌチョ

スパッ

パチョ

ブル

ブルッ

やんっ
やだっ…

だめっ

グチュ

チュウウ

で…出ちゃう
出ちゃう



うええええっ

うえっ

おひゅ

しゅん





あああああ

うわっ

うわっ



や...や...
助けてっ



やだやだ
やめてええんっ



さっ...裂け
ちやう

うわっ



お…おねがい もう
こんなことしませんから
ゆるしてっ

エリちゃん
死んじやうって…

平気平気

どうやら
ごく小さなころから
オナニーを常習してたようですね
膣内の筋肉もしっかりと活発で
大変具合がよろしい

グギョ

グギョッ



ぺたん娘ビッチ！PART II

作 者 おがわ甘藍,紫色雁行,う〜とむ,海野螢,あじまる

発 行 所 株式会社松文館
〒203-0053
東京都東久留米市本町1-5-21 7F
©おがわ甘藍/紫色雁行/う〜とむ/海野螢/あじまる/松文館

本書の記事・画像の無断転載は固くお断りいたします。